

いわや
岩屋ダムの防災操作について(速報)

まぜがわ ひがしくつべ
(馬瀬川(東沓部地点)の水位を1.32m低減)

独立行政法人水資源機構の管理する岩屋ダムでは、本州南岸を北東に進んだ台風3号の通過にともない、令和元年6月27日～28日に岩屋ダム流域で時間最大雨量19.3ミリ(27日20時)、降り始め(27日5時)から28日9時までの総雨量は116.7ミリを記録しました。

この降雨により、岩屋ダム貯水池に流れ込む水の量(流入量)は、27日23時03分に洪水流量(毎秒300立方メートル)に達したため防災操作を開始しました。27日23時30分には、流入量が最大(毎秒約315.90立方メートル)となり、この全量をダムに貯めて、ダム下流の河川水位の低減に努めました。

これにより、ダム下流にある東沓部地点(下流基準点)において、1.32メートル水位を低下させたと推定されます。

	ダムへの流入量が最大となった時刻	同時刻におけるダムへの流入量	同時刻におけるダムの放流量	同時刻におけるダム貯留量
いわや岩屋ダム	6月27日 23時30分	毎秒 315.90 m ³	毎秒 0 m ³	毎秒 315.90 m ³

ひがしくつべ東沓部地点※の水位が最高水位となった時刻	同時刻におけるひがしくつべ東沓部地点の河川水位	ダムがなかった場合の同地点の最高水位	ダムによる水位低減効果
6月27日 23時30分	2.04m	3.36m	1.32m

- ※ ひがしくつべ東沓部地点 : ダム下流約9.3km、飛騨川本線合流前約7.5kmの地点
※ 防災操作とは、大雨などの際、流れ込む水の一部を一時的に貯め込むことでダムから下流へ流す水の量を減らし、下流の水位を低減させることです。
※ 今回の発表は速報値であり、今後の精査によって数値等が変わることがあります。

令和元年6月28日



みずしげんきこう
独立行政法人 水資源機構
いわや
岩屋ダム管理所

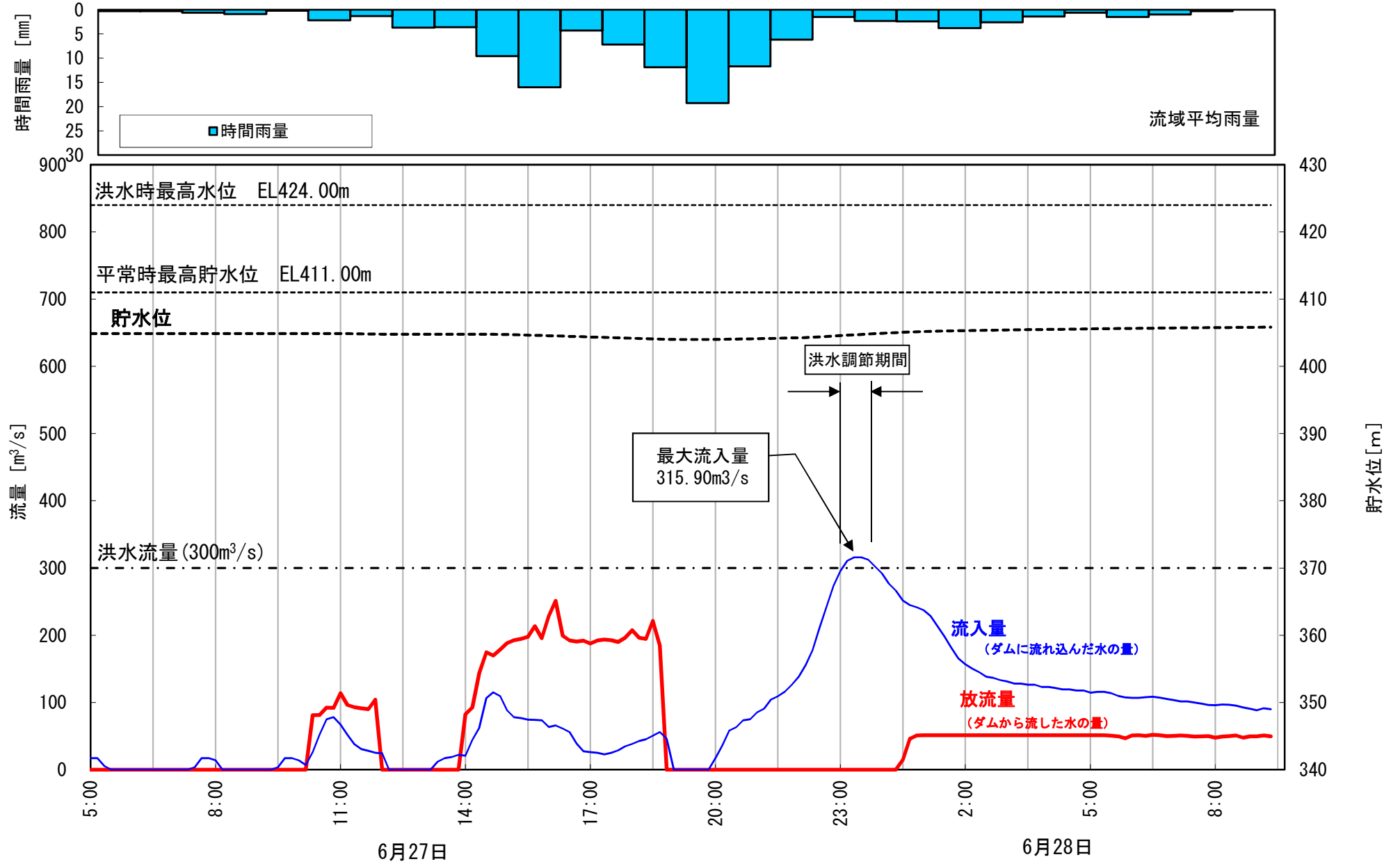
発表記者クラブ

中日新聞社萩原通信局	朝日新聞社高山支局
岐阜新聞社下呂支局	毎日新聞社岐阜支局高山通信部
読売新聞社下呂通信部	シーシーエヌ株式会社

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 岩屋ダム管理所 所長代理 金山
電話 : 0576-35-2339

岩屋ダム防災操作図 [令和元年6月27日～28日 洪水]

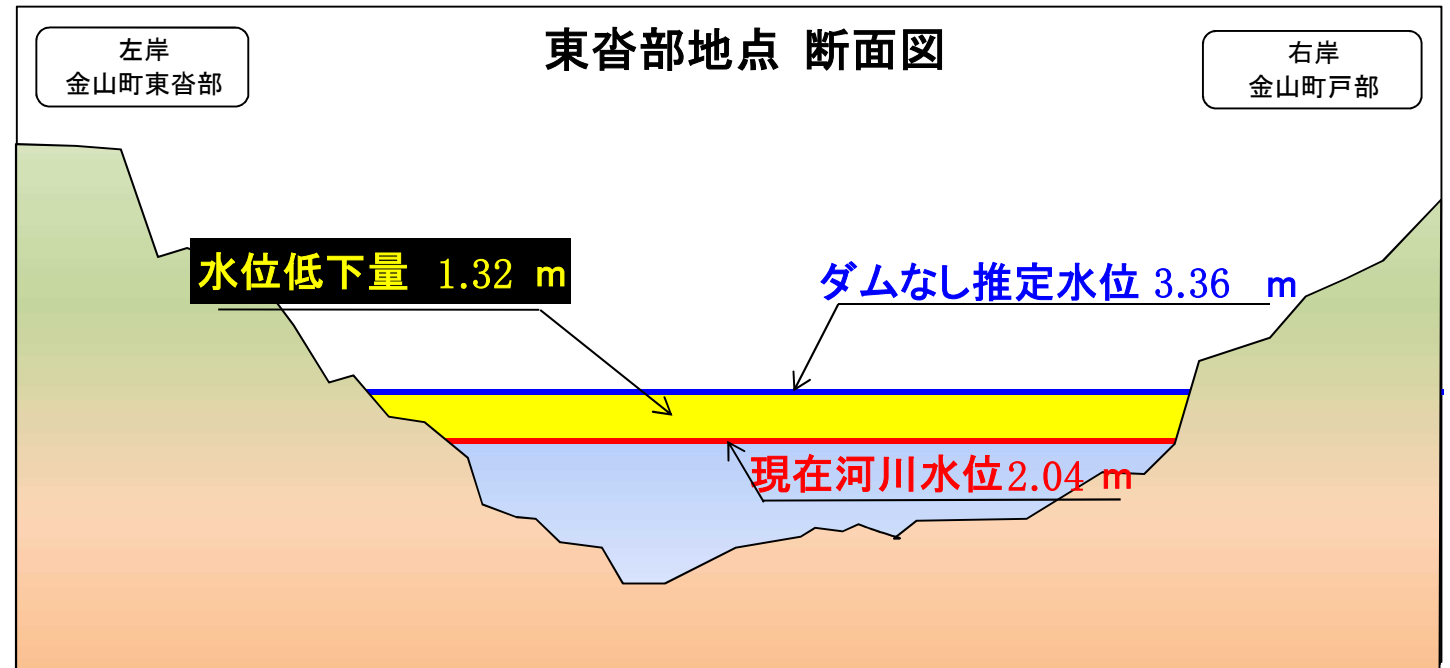
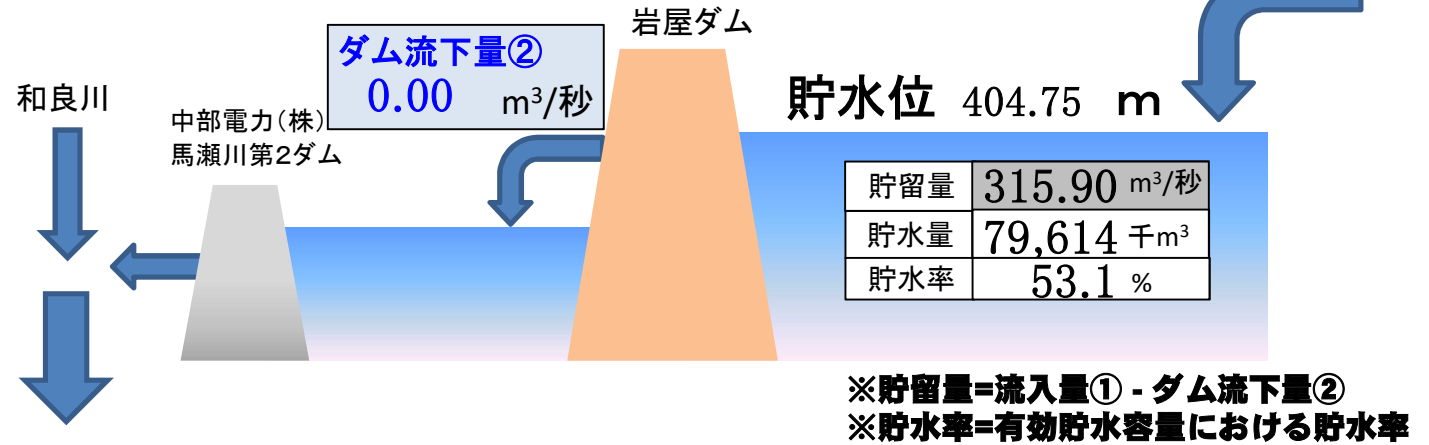


岩屋ダムによる下流河川水位低下効果(速報)

使用データ時刻 令和1年6月27日 23時30分

【注意事項】

この概略計算は、使用データ時刻における岩屋ダムの貯留量を、同時刻の東沓部地点の流量に加算し、水位を算定したものです。
 (実際には、岩屋ダムから東沓部地点まで洪水が流下する時間や、岩屋ダムから東沓部地点までの間に支川流入等があり、あくまでも参考に推定した値です。)



注) 正式な水位低下効果は、後日発表する洪水速報に記載されます。